

製品名: ドーパミン受容体 D3/DRD3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87159**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:44 kDa; Observed MW:44 kDa

抗原情報

遺伝子名	Dopamine Receptor D3/DRD3
別名	D3DR; ETM1; FET1
遺伝子 ID	1814
SwissProt ID	P35462
免疫原	ヒトドーパミン受容体 D3/DRD3 の合成ペプチド

背景

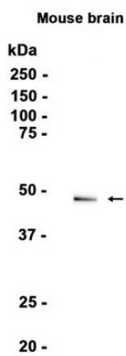
この遺伝子は、5つのドーパミン受容体（D1～D5）のうちD3サブタイプをコードしています。D3サブタイプ受容体の活性は、アデ

ニル酸シクラーゼを阻害する G タンパク質によって制御されます。この受容体は、認知機能、感情機能、および内分泌機能に関連する脳の辺縁系に局在しています。この遺伝子の遺伝的変異は、遺伝性本態性振戦 1 の感受性と関連している可能性があります。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする転写産物バリエーションが生じますが、一部のバリエーションはナンセンス変異 (NMD) の影響を受ける可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



ドーパミン受容体 D3/DRD3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。